



S A K U M A

M I C H I K O

—— 佐久間 美智子



佐久間 美智子 | MICHIKO SAKUMA

武蔵野美術大学造形学部卒

1993-2016 明星大学日本文化学部・造形芸術学部・デザイン学部教授 / 明星大学名誉教授

| 主な企画展 |

- 1973** 第6回国際タビストリービエンナーレ展 (ローザンヌ州立美術館・スイス)
- 1975・78・81** 第2・3・4回 国際テキスタイルトリエンナーレ展 (ウッチ中央染織博物館・ポーランド)
- 1976** 「今日の造形<織>-ヨーロッパと日本-」 (京都 東京国立近代美術館)
「現代日本のテキスタイル」 (バンセ美術館・フランス)
- 1980・1991** 「染と織-現代の動向-」 「染と織-現代の動向II-」 (群馬県立近代美術館)
- 1983** 「織から造形へ『ファイバーク』展」 (西武大津・滋賀 / 高輪美術館・群馬)
「ファイバーク展-織の造形とその展開-」 (群馬県立近代美術館)
「現代日本の工芸-その歩みと展開-」 (福井県立美術館)
- 1986** 「世田谷美術館所蔵作品展 世田谷の美術」 (世田谷美術館・東京)
- 1987** 現代・織の表現 フィラメントの構築性と表現をさぐる」 (スパイラルガーデン・東京)
- 1991** 「ソフト・スカulpture展」 (ギャラリー無有・京都 / 麻布美術工芸館・東京)
- 1993** 「ファイバーク展」 (福島県立美術館)
- 1986・1997** 「FIBER AS ART」 (ギャラリースペース21・東京)
- 1999・2001** 「第1・2回チョンジュ国際クラフトビエンナーレ展」 招待出品
- 2003** 「テグ市テキスタイル・ブレ・ドキュメンタ2003」 招待出品
- 2005** 「オリベ想創塾プロデュース展」 (AXIS GALLERY・東京)
- 2005・2006・2007・2008・2010・2012** 「テキスタイルの未来形」
- 2005・2006・2007・2012・2014** Miniartextilecomo 国際現代美術展 (イタリア・コモ)
- 2005** グランプリ「Premio Ratti」受賞 (イタリア・コモ)
- 2006** 「Nationality Fork Arts and Crafts Exhibition」 (中国雲南省文化美術館)
- 2007** 「21世紀シルクロードドキュメント・巡回展」 (キルギス国立美術館)
イランアーティストハウス・トルコ・マルマラ大学展示室、イタリア・ローマ・日本文化会館
- 2009** 「テキスタイル・白の表現」 (ヘルスン・ローカル/ローア美術館・ウクライナ)
- 2011** 「THE NATURE SPIRIT」, Centro Cultural Hispano-Japones-USAL(Salamanca), Centro de Arte Complutense-UCM(Madrid)
- 2013** 「スロバキア・日本国際交流展」 Gallery of Slovak Art's Union - Slovakia
「18 Miniartextile artworks、Arte & arte collections」 (Maison de la Culture du Japon - Paris)
- 2014** 「JAPANESE CONTEMPORARY FIBER SCULPTURE IN MINIATURE」 (The Sculpture Center in Ohio)
- 2015** “GEA-TERRE” Galerie Akie Arichi (フランス・パリ)
「EA MINIARTEXTILE」 (Palazzo Mocenigo イタリア・ベネツィア)
- 2021** 「Breathing-IV」 (いりや画廊・東京)
「ファイバークの15人展」 (京都文化博物館)

| 主な個展 |

- 1986・1988** 「大地への回帰」 「大地への回帰II」 (射手座 / 村松画廊・東京)
- 1990** 「Breathing」 (村松画廊・東京)
「Breathing-s」 (ギャラリー無有・京都/千疋屋ギャラリー・東京)
- 1992** 「Breathing-II」 (ARTBOX・横浜)
- 1995** 「Sublimation-I」 (ARTBOX・横浜)
- 1996** 「Sublimation-II」 (千疋屋ギャラリー・東京)
- 1998** 「ファイバーク・未知の記憶」 昭和女子大学光葉博物館・東京)
- 2000** 「GERMINATION-I」 (千疋屋ギャラリー・東京)
- 2016** 「天・空・地」 (佐久間美智子退任展 明星大学展示室・東京)
- 2018** 「Breathing-III」 (いりや画廊・東京)

| パブリックコレクション |

京都国立近代美術館 / ウッチ中央染織博物館 / 群馬県立近代美術館 / 世田谷区立美術館
Arte & Arte(イタリア・コモ市) / 雲南省文化美術館(中国)

Breathing — I V

「沈潜」には、水の底に沈み隠れる、または心を落ち着けて深く考えるという意味があります。美術家 佐久間美智子は織ることで自身の身体から生み出される沈潜の美を表現したいと考えています。それは自然美を追求することでもありますが、自然の中に弱々しく埋没したり、青白い孤立を意図としようとするわけではなく、あくまでも佐久間が自己を十全に晒しながら自然と共存する姿です。

「Breathing」とは自然が呼吸し、作品が呼吸する、その空間にいる人にも柔らかで穏やかな呼吸が伝わって欲しいという思いであり、それは作品の中に存在する「気」を視覚化する作業でもあります。

佐久間にとって「気」とは長い時間心に染み込んでいる身体の一部です。沈潜の美、それは各々の感性や経験を駆使することでしか吸収できない密かな美しさです。これらの要素を作品に表現するということは、制作するにあたって作為的な色や形に頼ることなく、自然に心地よく浮かんでくるものを手探りで感じながら作品に織り込んで行くことだと佐久間は考えています。

織り込んだものは完成後の修正はできません。しかし簡単なイメージや流れを固めたら原寸の大きさに描き、様々な要素を詰めすぎない状態で制作に入ります。最初の時点では作為を伴いますが、制作に入ると自分が呼吸するのと同じような時間が始まり、安定した快感を伴う呼吸になると佐久間は語ります。この穏やかな呼吸の流れが作品の中に「気」として表現されます。

今展では、幣画廊の深遠な空間一面に繰り広げた前展の作品群の最後の一点から再び始まります。月日を超えても呼吸を続ける佐久間の大作を含めた新作を是非ご高覧いただければと思っております。

いりや画廊学芸員 園浦 眞佐子



[R8]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / 760×1500(mm)



[R7]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / 1850×500(mm)



[R3]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / 3850×1350(mm)



[Center]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / 4720×1600(mm)



S A K U M A

M I C H I K O

—— 佐久間 美智子

Breathing — V

「大地は水を湛え、呼吸し、優しい気を放ちながら果てしなく続いていく。生きるもの全てがそのたおやかな気に包まれ呼応し安堵する。水の底に隠れるような沈潜の美と大地の持つ優しくも力強いエネルギーから生まれる気は、現代の社会に生きる人々を優しく包み込む。」

佐久間美智子

「沈潜」には、水の底に沈み隠れる、または心を落ち着けて深く考えるという意味があります。それは己を十全に晒（さら）しながら自然と共存する姿であり、『沈潜の美』とは感性や経験を駆使することでしか吸収できない密かな美しさです。佐久間にとって、制作に入るということは呼吸と同様な時間を積み重ねることであり、穏やかな呼吸の流れから湧き上がる情念や感動が、己の心に染み込む長年の「気」を空間に放出し、大地の優しくも力強いエネルギーから生まれる気と融合されることで作品に潜む『沈潜の美』は表現されると考えます。自然素材の多くは優しく頼りないものですが、様々な技法によって命を与えられることで、多彩な表現の可能性を秘めています。特に「織りとマクラメ」という、最も単縦な技法を完全に合体させることで、佐久間はファイバー本来の「優しさ」に加え「力強さ」と「エネルギー」を表現する、長年佐久間が取り組んでいる壮大な作品シリーズ「Breathing V」が画廊空間を包み込みます。

いりや画廊学芸員 園浦 眞佐子



[Breathing V s-I]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / H1800×W 2500(mm)



[Breathing V s-II]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / H1050×W2800(mm)



[Breathing V]

ウール・麻・ラフィア・シュロ(つづれ織り・マクラメ) / H1800×W13000(mm)